

第1回「千代川町湯井区農業の将来を考える集い」

(京都府亀岡市千代川町地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年11月11日(日)13:30～
- 場 所: 亀岡市千代川町湯井区公民館
- 出 席 者: 農業委員1人、推進委員2人、農業者12人
- 報 告 者: 森田一三 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 亀岡市西部に位置する比較的平坦な田園地帯。
- 水稲作を中心とした農業。耕地は未整備。
- 高齢化が進行している。○ 後継者が土・日耕作。

3 課題解決に向けた活動(青年農業者等の意見)

- 耕作放棄地が増加している。○ 農家が前向きになる要素がない。○ 空き家も増加している。
- 空き家バンクへの登録も。○ 土地があるから何とか頑張っている。○ 今より悪くならない手法を。
- 今できる手立てを考える。○ 湯井ファームを立ち上げ、(8名)受託や耕作放棄地対策を取り組み始めた。
- 今使っている機械がつぶれるまでは何とか頑張る。→壊れて更新の時には？
- 1ha: 自分ができる限界。○ 法人化も必要だが、自分が手伝えるのは定年後。
- 今年、父が体調を崩した。初めて自分で耕作したが大変。来年どうしようかと考えている。
- 基盤整備も必要。→ 森田: 新たな制度もある。京力農場プランの策定を。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **3** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **12** 人 支援